

未来につなぐスケートの輪

































や周りの人に支えられた話や オリンピックでの金メダル獲得、 真剣な眼差しを向ける子どもたちに、 を始めた3歳の頃から学生時代、 人に寄り添うこ

もグループに加わって子どもたちと交流を深め で手をつなぎ1つのフラフープを全員がくぐり ス内で交流会を行いました。 での滑走が雨で中止となったため、 かれて全身を使ったじゃんけんや10: 仲間に思いを寄せる大切さを語りました。 当初予定していたスケー グループごとに分



を紹介します。

NAO ice OVALのオープニングセレモニーに合わせた「未来につ

なぐスケートの輪 on NAO ice OVAL」と、母校である豊平小

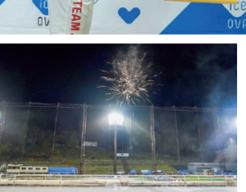
学校で講演会を行いました。講演やスケートのアドバイス、体を動 かすゲームなどを通じて子どもたちと交流を深めたイベントの様子

未来につなぐスケ

たイベント用のオリジナルパ 奈緒さん(TEAM JAPANシンボルアス に合わせて実施されました。 ^され、これを着用してイベントがスター シャルアクション事業の一環と のオープニングセレモニー 長野県内の

7





うなイベントをこれからもできる なので、これをきっかけにこのよ 協力していただき叶った一つの夢 会の一つとしてJOCや茅野市に

クワクしている気持ちを大事にして は支えてあげて、子どもたちのワ く大事だと思う。

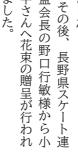
周りの大人たち

分からやりたいと思えることがすご

始めるきっかけは何でもいい。

ように私自身も成長していけたら

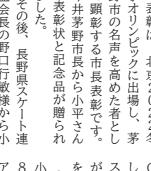
ンという社会を豊かにしていく機

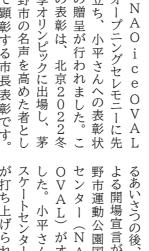


平さんへ花束の贈呈が行われ 後のオ プニングセレ

盟会長の野口行敏様から

の表彰は、北京20年の表彰は、北京20年茅野市長から小平さんの表彰は、北京20年を高めた者としの表彰は、北京20年がある。





A

C

е

O V

プニングセレモニ

を盛大に祝いました。 が打ち上げられ、 8日に開催される茅野ジュニ 小平さんから令和5年1月 トセンターでは、 小平さんの宣言後、 セレモニーの中で、 花火 c e 茅

大会に小平さんが 小平さんに

来場し、 健闘した子どもに

して、 「小平奈緒杯」を んが、



小平奈緒さんインタビュ

-イベントで楽しみにしているこ

きるように今日は楽しい会にした だという気持ちに繋げることがで ちをもっともっとスケ. 緒にリンクで滑ることはできませ いと思っています。 ると思うので、その楽しみな気持 をみんなも楽しみにしてくれてい 残念ながら雨で子どもたちと一 リンクでスケ-これから冬のシーズンにな トをすること トが好き

贈呈することも発表されま

-イベントを行っての感想は

スケ

ちがこれから自分たちが歩いてい れまで歩んできた道のりを子ども と思います。 ントを過ごすことができたのかな たちと振り返ることで、 く未来を想像しながら今日のイベ トの話をしたり、 シャルアクショ 子どもた 私がこ したことは

子どもたちに伝えたいことは を大事にしました。 方があるよということを伝えること ないように、 ように、こんな考え方や意識の仕 子どもたちの自由な発想が失われ トを始めたいと思っている 学びの芽を摘まな

豊平小学校 講演会 (2022.11.10)

にできればいいかなと思います。 自分でその学びを広げていけるよう

- プログラムを作るうえで大事に

11月10日、小平奈緒さんが母校の豊平小学校で「人 とつながる」を演題に講演会を行いました。これまでの経 験を踏まえて、人との繋がりや支え合うことの大切さを子 どもたちに伝えました。質問コーナーでは、たくさんの子 どもたちが手を挙げて「豊平小学校で1番好きな場所は どこですか」「緊張をどのようにほぐしていますか」などの 質問をしていました。小平さんは、真剣にアドバイスをし たり、笑顔で質問に答えていました。

講演会終了後には、豊平小学校スケートクラブの子ども たちが、小平さんにメッセージボードを贈りました。





Interview 子どもたちの声

と思っています て考え方に変化は -子どもたちなどとの交流を通じ

今まで大きな夢を追いかけてきまし すごく夢があってワクワクします。 緒にこのような活動ができることは キラキラした目の子どもたちと一 今度はみんなの夢を一緒に

学びの仕掛けをしてあげてそこから 子どもたちが自分たちで学びを広げ たいと思っています。 追いかけていけるような存在になり ていけるような思考になると思いま けになる言葉を投げかけてあげると 技術的な指導をしていくより 技術的な指導をしていく予定は 何かを教えるというよりは、 やってみたいなと思えるきっか

ıţ





や今年の目標を聞きまし

た

ましたか」「大変だった練習は何で

といった質問に丁寧に答えて

JAPAN

小平さんは、

「最初はたくさん転び

挙げて質問しようとしていました。

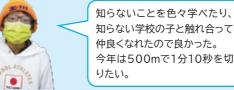
さんの子どもたちが積極的に手を

講演後の質問コー

たく

くことのできない貴重な話を聞きま

トンする理由など普段聞



をお手本にスター

トの際の足の使い カーブでの骨盤

の技術を伝えました。

小平さん

の使い方のポイント、 方や重心の位置、

スター

公開しながら、

子どもたちにスケー

JAPAN

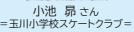
•

き留めてきた秘密のノ

も特別に

講演では、結城さんがこれまで書

しようとする様子が見られました。



目標は、自己ベストを出す ことと表彰台にのぼること。

多賀谷 文乃 さん

=永明中学校スケート部=

3000M

ZAPAN

真剣に聞いて、

技術を自分のものに

は先ほどのゲームの時と打って変

結城さんと小平さんの話を

講演が行われました。

子どもたち

んのコ

チを務めた結城匡啓さんに

ム後には、

小平さんと小平さ

小平さんと結城コーチの

ANGEL (E)

RISING TOSETHER

(0)

トのはなし」

よる「スケー

トのはなし」と題した

MPIN

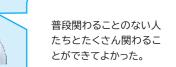


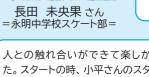
色々なことを教えてもらったり、 色々な学校の人と交流できて楽し かった。

教えてもらったとおりにコーナー を滑れるように頑張りたい。 今年は500mで50秒を切りたい。 小平さんのスタートやコーナーの仕 方を学ぶことができてよかった。 景品はもらえなかったけど、友達 と協力してゲームを楽しくできた。 今年は500mで50秒、1000m で1分42秒を切りたい。



北原 陽菜 さん =金沢小学校スケートクラブ=





0

人との触れ合いができて楽しかっ た。スタートの時、小平さんのスター トの時の足を真似してみたい。 今年は500mで55秒、1000mで 2分を切りたい。 パーカーは、学校とかに着ていきたい。



